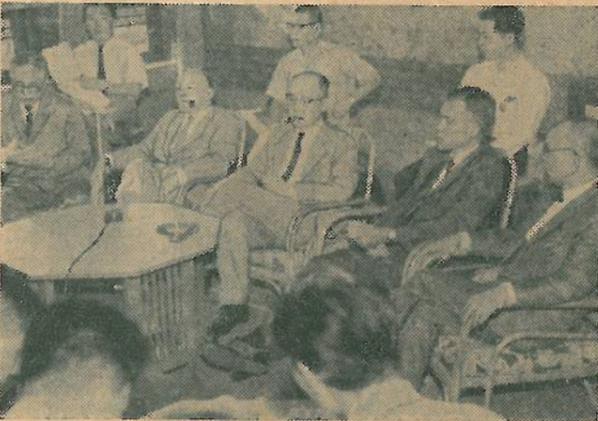


きょう世界連邦世界大会 24(第)

# 軍備撤廃へ具体提案 湯川会長ら記者会見

二十四日から東京文化会館で開かれる世界連邦世界大会を前に、世界連邦世界協会会長の湯川秀樹、マラリュール事務総長、スタンレー理事長、ロッパばかりで開かれていたこの大会が日本で開催されるのは非



記者会見する(左から二人目)マラリュール事務総長、湯川秀樹会長、スタンレー理事長

大会が初めてアジアで開かれるのは、この運動が世界的規模に成長した証拠だ。とくに核停約によつて世界が平和へ一歩進んだ時に

元英首相ブレント・R・アトリー氏(シニイオレット・ヘルン夫人)は、朝日新聞社のまねきで二十日夜十時羽田着のBOAC機で来日した。

アトリー氏は世界連邦世界協会副会長として、二十四日から東京で開かれる第十一回世界連邦世界大会に出席、またこの機会に朝日新聞社主催による世界平和に関する講演会を東京と京都で行



来日したアトリー元英首相夫妻(羽田で)

## アトリー元英首相来日

常に有意義なことだと思ふ」と述べた。スタンレー理事長は「世界法による世界平和を実現するには、世界のあらゆる地域の人々の協力が必要だ」と、初めてアジアで開かれる大会の意義を強調、最後にマ

ラリュール事務総長は「全面的軍備の撤廃なしには平和はありえない。われわれ世界連邦主義者の最も大きな任務は、いかにしてその軍備撤廃へたどりつくかの方法を提示することだ。大國の指導者がこの大会で世界にこの具体案を提案するつもりだ」と語った。

講演では世界連邦日本協議会、外務省、英国大使館、朝日新聞社など関係者が出席する中、アトリー氏は手すりにつかまるとラッパを降ろした。だが、その背後、見るからに、田舎非難が然とした同様の風情。空港ロビーの記者会見で「日本に来ることが出来て大変うれしい。日本国民が世界連邦と世界平和実現のため力を

ついでにきたことによく知っている。また妻と一緒に珍しいもの、今更知らなかったものを見聞することが出来るのを楽しみにしている」と語り、宿舎の帝国ホテルに向った。

c084-016-009